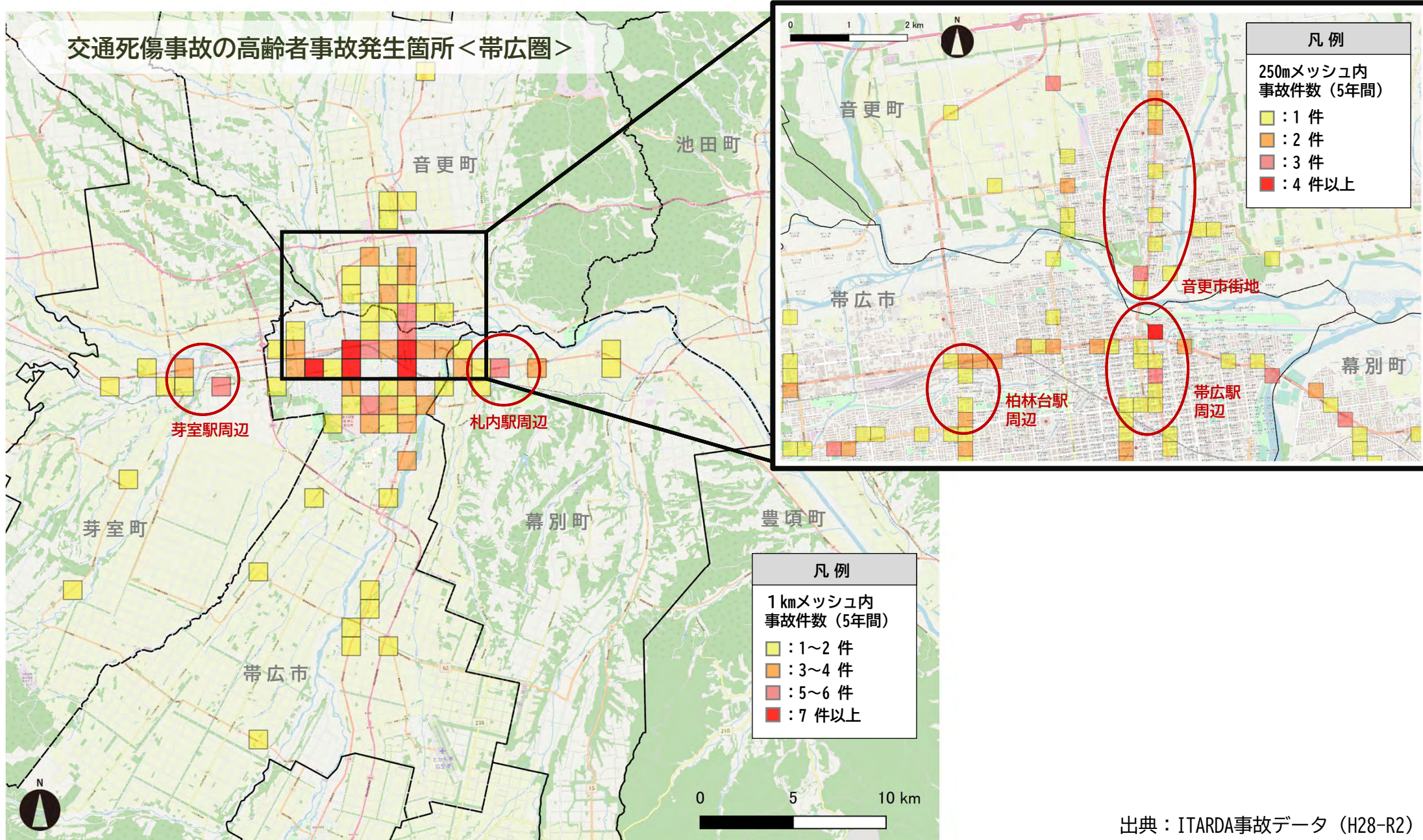


6. 交通事故

(4) 高齢者事故発生箇所

- 高齢者事故（交通死傷事故の内、第1当事者が65歳以上の事故）の発生箇所も全体の事故発生箇所と同様に、帯広市や音更町の市街地での発生が多いですが、芽室町及び幕別町の市街地にあたる芽室駅周辺や札内駅周辺でも発生件数が高くなっています。

交通死傷事故の高齢者事故発生箇所<帯広圏>

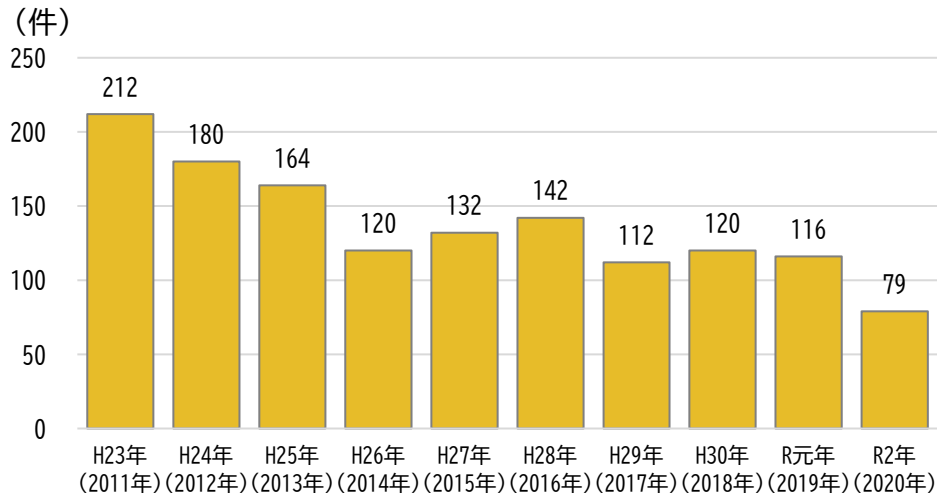


6. 交通事故

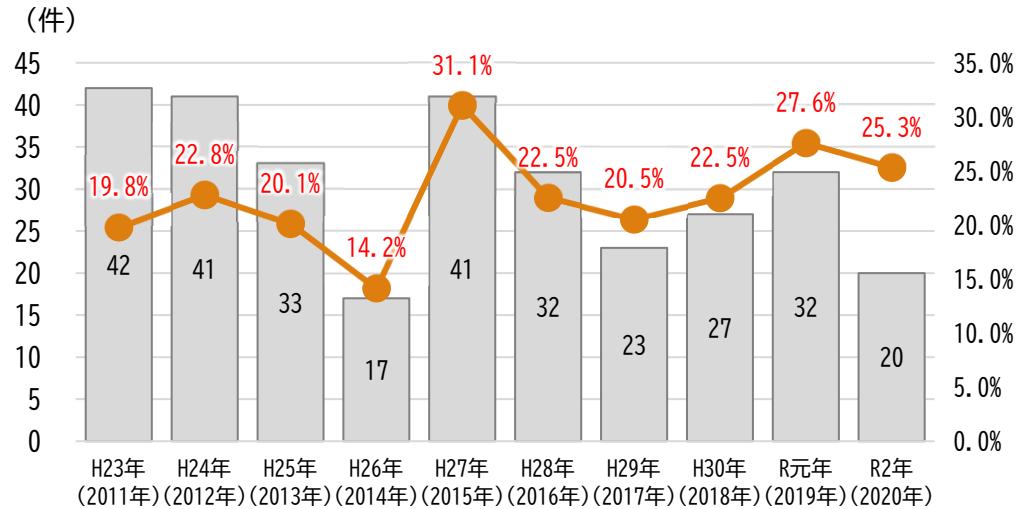
(5) 交通死傷事故（無積雪期）

- 交通死傷事故件数はやや減少傾向にあり、高齢者の事故比率は増加傾向にあります。
- 交通死傷事故の発生箇所は交差点がおよそ6割を占め、追突事故や出会い頭の事故の割合が高いです。

交通死傷事故数の推移<帯広圏>

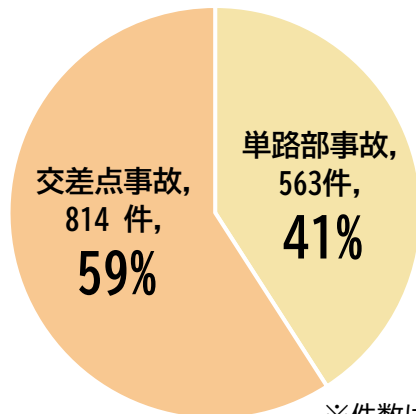


交通死傷事故の高齢者事故件数・事故比率の推移<帯広圏>



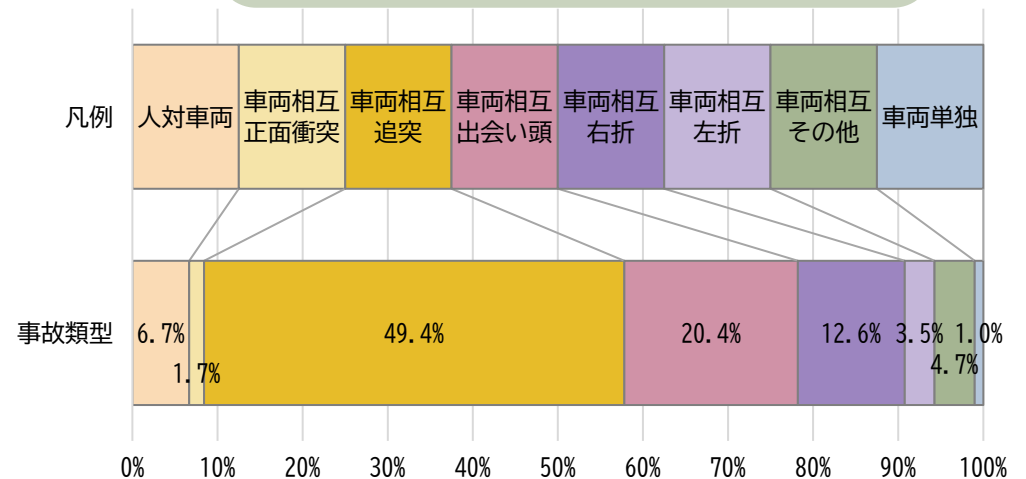
※ 高齢者事故：交通死傷事故の内、第1当事者が65歳以上の事故

交通死傷事故の発生箇所<帯広圏>



※件数はH23-R2の合計値

交通死傷事故の事故類型<帯広圏>



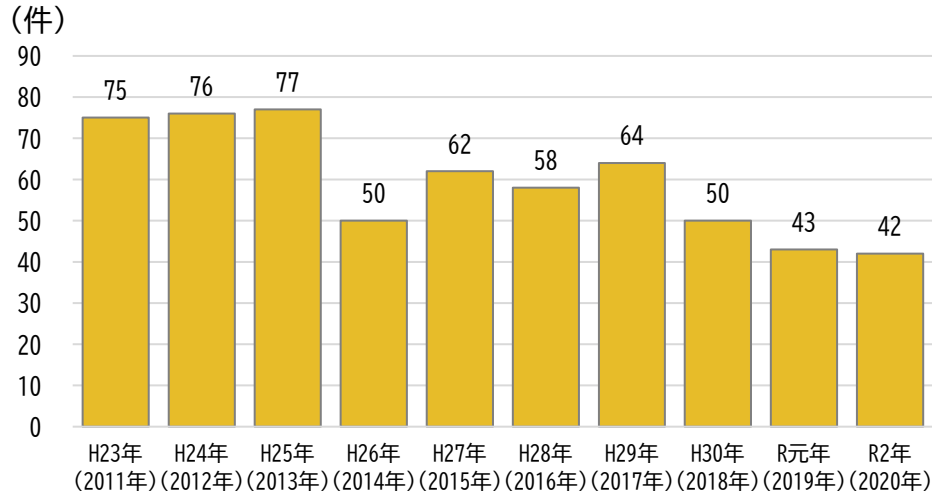
出典：ITARDA事故データ (H23-R2)

6. 交通事故

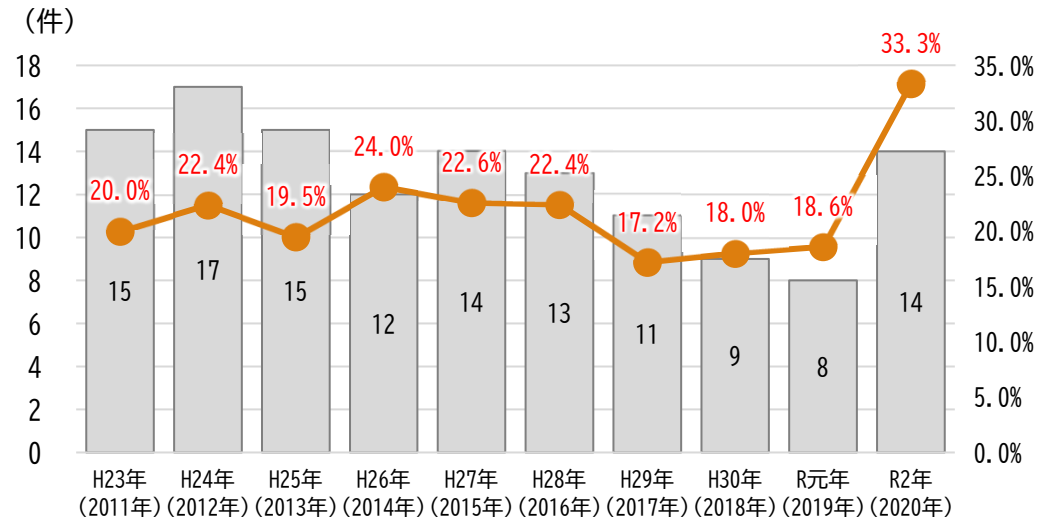
(6) 交通死傷事故（積雪期）

- 事故件数は減少傾向にありますが、高齢者の事故比率は令和2年で大幅に増加しています。
- 無積雪期に比べ正面衝突事故の割合約3%高くなっています。

交通死傷事故数の推移<帯広圏>

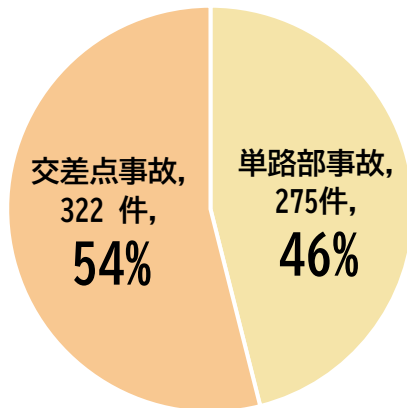


交通死傷事故の高齢者事故件数・事故比率の推移<帯広圏>



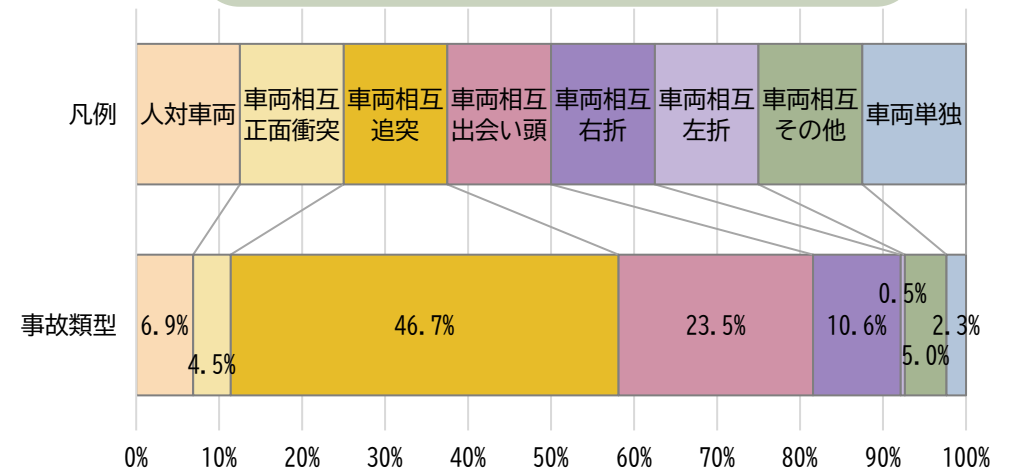
※ 高齢者事故：交通死傷事故の内、第1当事者が65歳以上の事故

交通死傷事故の発生箇所<帯広圏>



※件数はH23-R2の合計値

交通死傷事故の事故類型<帯広圏>



出典：ITARDA事故データ (H23-R2)

6. 交通事故

(7) 交通死傷事故の発生箇所 【無積雪期・積雪期別】

- 積雪期別にもても、国道241号の帯広駅周辺から音更市街地間、柏林台駅周辺、国道38号の札内川周辺で、稲田地区周辺で事故が多発しています。



6. 交通事故

(8) 高齢者事故発生箇所 【無積雪期・積雪期別】

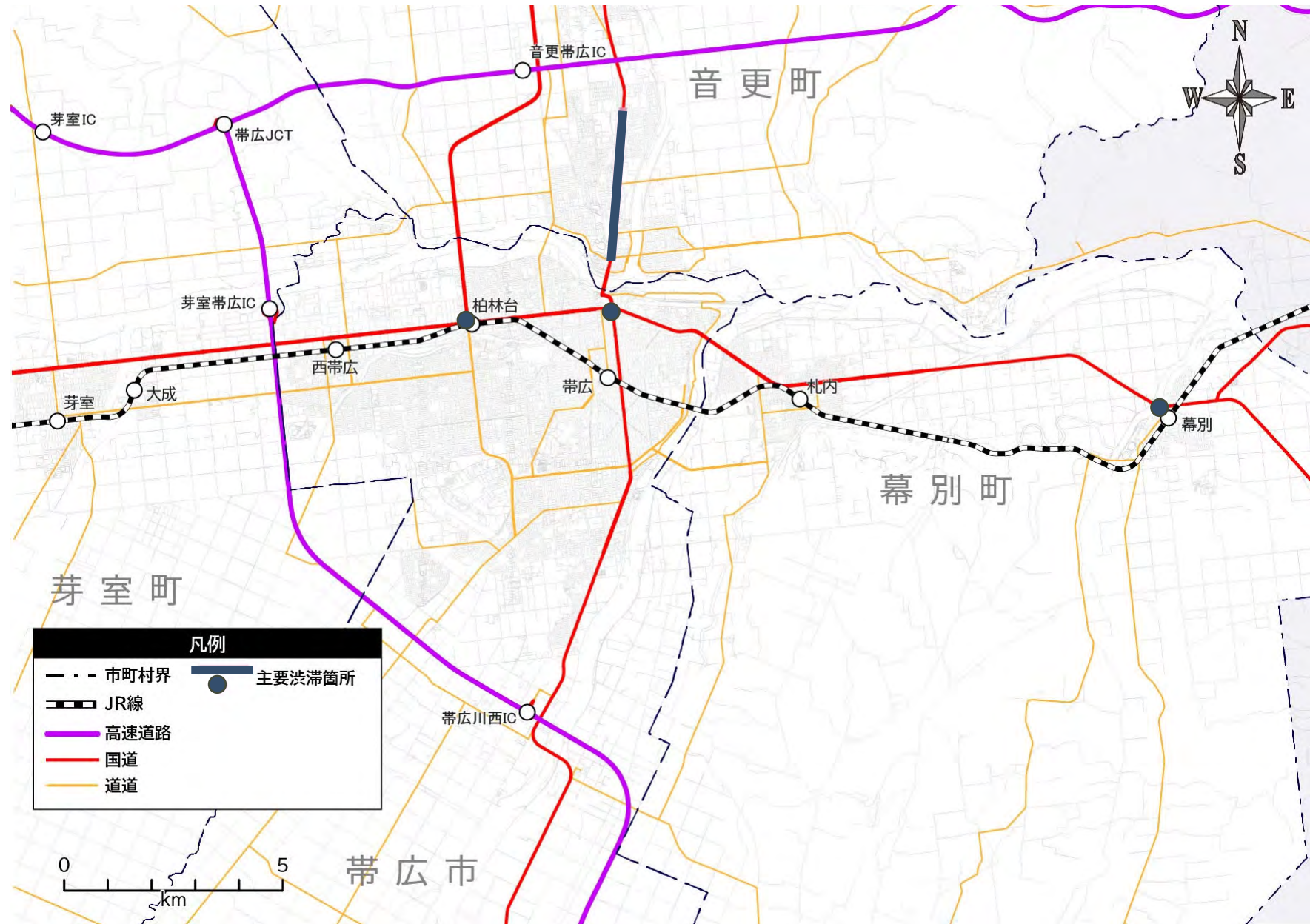
- 高齢者の事故は、全体の事故箇所と大きくは変わりませんが、国道、道道といった主要道路や駅周辺における事故が多い傾向にあります。
- 積雪期においては、高齢者における事故箇所は少ないですが、特に国道38号の市街地での事故が見られます。



7. 渋滞箇所

(1) 北海道渋滞対策協議会

- 北海道渋滞対策協議会で帯広圏の主要渋滞箇所として、国道38号×国道241号交差点部、国道38号×国道236号交差点部、音更大通が選定されています。



1. 対象とした 上位・関連計画

- 国及び北海道の上位計画、1市3町の関連計画等を整理し、関連計画については、「道路交通」「公共交通」「交通関連まちづくり」の3視点より整理した。

	分野	主体	計画名	策定年 (見直し・改訂)	計画期間
上位計画	総合	国	北海道総合開発計画(第8期)	2016年(平成28年)3月	2016年度(平成28年度)～2025年度(令和7年度)
	総合	北海道	北海道総合計画(2021改訂版)	2021年(令和3年)11月	2016年度(平成28年度)～2025年度(令和7年度)
	道路	国	新広域道路交通計画(北海道ブロック版)	2021年(令和3年)4月	目標年:2040年度(令和22年度)
	道路	北海道	北海道交通政策総合指針	2018年(平成30年)3月	2018年度(平成30年度)～2030年度(令和12年度)
関連計画	総合	帯広市	第七期帯広市総合計画	2020年(令和2年)3月	2020年度(令和2年度)～2029年度(令和11年度)
	総合	音更町	第6期音更町総合計画	2021年(令和3年)3月	2021年度(令和3年度)～2030年度(令和12年度)
	総合	芽室町	第5期芽室町総合計画	2019年(平成31年)3月	2019年度(令和元年度)～2026年度(令和8年度)
	総合	幕別町	第6期幕別町総合計画	2018年(平成30年)3月	2018年度(平成30年度)～2027年度(令和9年度)
	土地利用	北海道	都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	2020年(令和2年)10月	目標年:2030年度(令和12年度)
	土地利用	帯広市	第2次帯広市都市計画マスタープラン	2020年(令和2年)3月	2020年度(令和2年度)～2040年度(令和22年度)
	土地利用	音更町	音更町都市計画マスタープラン	2021年(令和3年)9月	2021年度(令和3年度)～2040年度(令和22年度)
	土地利用	芽室町	芽室町都市計画マスタープラン	2019年(平成31年)3月	2004年度(平成16年度)～2026年度(令和8年度)
	土地利用	芽室町	芽室町立地適正化計画	2020年(令和2年)3月	2019年度(令和元年度)～2026年度(令和8年度)
	土地利用	幕別町	幕別町都市計画マスタープラン	2021年(令和3年)3月	2021年度(令和3年度)～2040年度(令和22年度)
	公共交通	北海道	十勝地域公共交通計画	2023年(令和5年)6月	2023年度(令和5年度)～2027年度(令和9年度)
	公共交通	帯広市	帯広市地域公共交通計画	2023年(令和5年)9月	2023年度(令和5年度)～2027年度(令和9年度)
	公共交通	音更町	音更町地域公共交通計画	2023年(令和5年)3月	2023年度(令和5年度)～2027年度(令和9年度)
	自転車活用推進	帯広市	帯広市自転車活用推進計画	2023年(令和5年)3月	2023年度(令和5年度)～2032年度(令和14年度)
	自転車活用推進	音更町	音更町自転車活用推進計画	2023年(令和5年)9月	2023年度(令和5年度)～2032年度(令和14年度)
	自転車活用推進	幕別町	幕別町自転車活用推進計画	2024年(令和6年)2月	2024年度(令和6年度)～2028年度(令和10年度)
	環境	帯広市	第三期帯広市環境基本計画	2020年(令和2年)3月	2020年度(令和2年度)～2029年度(令和11年度)
	環境	音更町	音更町地球温暖化対策実行計画(区域施策編・第4次事務事業編)	2023年(令和5年)	2023年度(令和5年度)～2030年度(令和12年度)
	環境	芽室町	第3期芽室町地球温暖化防止実行計画(事務事業編)	2022年(令和4年)7月	2022年度(令和4年度)～2026年度(令和8年度)
	環境	幕別町	幕別町地球温暖化対策実行計画(案)	2024年(令和6年)2月予定	2023年度(令和5年度)～2026年度(令和8年度)
デジタル化	帯広圏	帯広圏デジタル化推進構想(原案)	未定	未定	

2. 上位計画の方向性

分野	主体	計画名	方向性		
			<道路交通>	<公共交通>	交通関連まちづくり
総合	国	北海道総合開発計画 (第8期)	<p><地域の強みを活かした産業の育成></p> <ul style="list-style-type: none"> 産業を支える人流・物流ネットワークの整備 空港・港湾や北海道内各地の物流拠点・生産拠点と高規格幹線道路との直結等のアクセスを強化 	<p><低炭素社会の形成></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種の都市機能の立地の適正化及び公共交通機関の利用促進 	<p><安全・安心> 強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策の推進 <p><観光> 地域資源を活用した農山漁村の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」を活用した都市・農村交流の拡大 <p><DX・防災> 冬期災害への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度道路交通システム技術やSNS等を活用した暴風雪等に関する情報提供を強化 <p><GX> 再生可能エネルギーの更なる導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車の普及促進、再エネ水素ステーション、充電ステーション等の整備促進
総合	北海道	北海道総合計画 (2021改訂版)	<p><連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成></p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外との人流・物流の拡大効果を全道に波及させるため、高規格道路の整備といった高速交通体系の形成を促進 幹線やラストワンマイルでの共同輸送などの物流効率化の促進 	<p><連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成></p> <ul style="list-style-type: none"> 自動運転やMa a S等との連動のほか、交通事業者をはじめとする幅広い関係者が相互に連携・協力できる環境を整えながら「運輸連合」に向けた検討を進める 	<p><防災> 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難や救急救援活動などに必要な緊急輸送道路・避難路の整備や、道路施設などの防災対策の計画的な実施と適切な維持管理を推進 <p><DX> 地域の可能性を広げるデジタル・トランスフォーメーションの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 暮らしや産業のあり方を変革し、地域の魅力を一層高めるデジタル・トランスフォーメーションを推進 <p><GX> 環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパクトなまちづくりや物流の脱炭素化を進める
道路	国	新広域道路交通計画 (北海道ブロック版)	<p><空港・港湾等の交通拠点へのアクセス強化></p> <ul style="list-style-type: none"> 高規格道路やこれを補完する広域的な道路ネットワークの形成 高規格道路と生産・物流拠点との間のアクセス強化 国際貨物輸送に対応した道路ネットワークの強化 <p><交通拠点計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅等を活用し、地方への配送拠点を構築 貨客混載バスの運行等によって物流の効率化を図る 	<p><交通拠点計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市間バスから地方を周回する路線バス等への乗り換え拠点を配置し、北海道内を階層的に接続する交通結節機能を強化 	<p><防災> 災害に備えたリダンダンシー確保・国土強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高規格道路の暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と並行する国道とのダブルネットワークの強化などによるリダンダンシーの確保や、道路の防災対策などによる耐災害性の強化を推進 <p><防災> 防災拠点計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な復旧・復興活動の拠点として道の駅の防災機能を強化 <p><観光> 交通拠点計画</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージ等、観光案内の強化や、シェアサイクル等の多様なモビリティの提供により、観光周遊の促進に向けた機能を強化 <p><DX> 交通マネジメント計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 準天頂衛星「みちびき」を活用したガイダンスシステム等により除雪作業の現場の省力化、生産性・安全の向上 AIによる画像解析により交通量や異常気象等の危険事象の検知を実施
道路	北海道	北海道交通政策総合指針	<p><地域を支える人・モノ輸送戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少のもとでも、地域の暮らし・産業を支える安定的かつ持続的な交通・物流ネットワークの確保 	<p><シームレス交通戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道やバス、タクシーなど交通モード間の連携による利便性が高くストレスのない移動の実現 	<p><観光> インバウンド加速化戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流人口の飛躍的な拡大をリードし、世界の人が行き交い北海道にインパクトをもたらす交通の実現 <p><防災> 災害に強い交通戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や交通事業者の連携により、災害時にも安心できる信頼性の高い交通の実現 <p><DX・GX> ドローン輸送やIoT等新技術を活用した取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローン輸送やIoT、AI等新技術を活用により省人化と情報の共同利用に向けた標準化を図るなど、生産性の向上及び環境負荷低減に向けた取組を促進

3. 関連計画の方向性（1 総合計画）

主体	都市将来像・目標	方向性		
		<道路交通>	<公共交通>	交通関連まちづくり
帯広市	<p><都市将来像> あおお ひろびろ いきいき 未来を信じる 帯広</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち 2. 活力とにぎわいと挑戦があるまち 3. ともに学び、輝く人を育むまち 4. 安全・安心で快適に暮らせるまち 	<p><つなげて広げる ビジネスチャンス></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 十勝圏と他都市などを結ぶ高規格幹線道路の整備促進 <p><未来につなぐ、住みよいまち></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道路の整備・維持管理 	<p><つなげて広げる ビジネスチャンス></p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR石勝線・根室本線の維持充実 <p><未来につなぐ、住みよいまち></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者等と連携しながら、利用ニーズを踏まえた路線等の見直しや新たなサービスの導入などを推進し、持続可能で利便性の高い地域公共交通の確保を図る 	<p><安全・安心> みんなでつくる笑顔と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関や団体などと連携しながら、交通安全に関する意識啓発や、交通事故の防止に向けた環境づくりを進める
音更町	<p><都市将来像> みんなが住みよい 選ばれるまち おとふけ</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済の好循環でつくる元気あふれるまち 2. 都市と自然が共生する持続可能な住みたいまち 3. 生きる力、支える力を育むまち 4. 健やかで心ふれあう、やさしさに満ちたまち 5. みんなが参加できる協働のしくみでつくるまち 	<p><道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速道路ネットワークの整備促進（北海道横断自動車道、帯広・広尾自動車道の早期完成に対する関係機関への要望） ● 国道、道道の整備促進（一般国道241号（音更大通）の交通事故対策事業及び無電柱化事業の早期完成） 	<p><公共交通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティバスと農村地域予約制乗合タクシーの利便性向上 ● 地域生活バス路線の確保 ● 鉄道・航空・高速バスなどの利便性向上 	<p><安全・安心> 交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故を防ぐ環境づくり
芽室町	<p><都市将来像> みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり 2. 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり 3. 誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり 4. 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり 5. 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり 	<p><道路交通環境の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 幹線道路網の整備促進 	<p><道路交通環境の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関の確保 	<p><観光> 地域資源を活用した観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道東自動車道を活用した観光振興の推進 <p><安全・安心> 防犯対策と交通安全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全指導・啓発事業の推進
幕別町	<p><都市将来像> みんながつながる 住まいる まくべつ</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協働と交流で住まいる 2. 特色ある産業で住まいる 3. 人がいきいき住まいる 4. 豊かな学びと文化、スポーツで住まいる 5. 自然との調和で快適な住まいる 	<p><安全で機能的な道路と公共交通体系の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主要幹線道路の整備促進（北海道横断自動車道と高規格幹線道路「帯広・広尾自動車道」の早期完成に対する関係機関への要望） 	<p><安全で機能的な道路と公共交通体系の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関の確保（コミュニティバスや予約型乗合タクシーにより、高齢者や障がい者などの交通弱者に対する必要な生活交通手段の確保） 	<p><安全・安心> 交通安全と防犯体制の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全思想の普及 ● 交通安全施設の整備 <p><安全・安心> 安全で機能的な道路と公共交通体系の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全な道路環境の整備（歩道の整備や段差の解消、交通安全施設や案内標識の充実など、ユニバーサルデザインに基づいた道路整備を推進）

3. 関連計画の方向性（2-1 土地利用「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」）

対象	商業拠点	工業・流通拠点	方向性
帯広市	<p><中心商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3・3・12号西2条通（主要道道帯広停車場線） <p><沿道商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3・3・7号石狩通（国道38号） ● 3・2・5号白樺通（一般道道芽室東四条帯広線市道白樺通西甲線） ● 3・4・13号西5条通（市道西5条南線） ● 3・1・2号公園大通（一般道道八千代帯広線） ● 3・2・3号西南大通（市道西南大通線） ● 3・2・4号西3条通（市道西3条南線） ● 3・2・9号栄通（市道西10号南線） ● 3・2・42号中島通（主要道道幕別帯広芽室線、市道中島通線） ● 3・3・6号大通（国道236号） ● 3・3・8号弥生通（主要道道幕別帯広芽室線、市道柏・弥生通線） ● 3・3・10号共栄通（一般道道八千代帯広線） ● 3・3・12号西2条通（主要道道帯広停車場線） ● 3・4・11号春駒通（市道南4線甲線） ● 3・4・16号電信通（市道南5丁目東線） ● 3・4・22号新緑通（市道南3線甲線） 	<p><専用工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 帯広工業団地 ● 新帯広工業団地 ● 西19条北地区及び西20条北地区 <p><流通業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● J R帯広貨物駅 ● 西陵北地区 	<p><道路交通>自動車専用道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人的交流の活性化、物流の効率化及び防災機能強化等を図るため、都市間や空港及び港湾等との広域的な高速交通ネットワークの形成を促進するとともに、主要幹線道路等との連携により都市内交通とのアクセス機能を高める <p><道路交通>環境にやさしい拠点集約型都市構造に向け</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 帯広圏1市3町の都市軸・生活拠点連携軸・産業軸・観光交流軸を強化するため、本区域内の道路網の骨格となる4放射1環状の主要幹線道路を適正に配置し、整備拡充を促進 <p><道路交通>都市内道路網の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な都市活動を支え円滑な交通を確保するため、沿線の土地利用も勘案しながら生活拠点を連携する都市幹線道路等を配置し、都市内道路網の形成を促進 <p><安全・安心><交通体系における自転車の役割を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全で快適に通行ができる自転車・歩行者道の整備を進める
音更町	<p><拠点商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 十勝川温泉地区に配置し、温泉観光地として、観光施設や宿泊施設等の集積を図る <p><地域商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3・3・101号音更大通（国道241号）と3・3・102号国見通（主要道道帯広新得線、主要道道帯広浦幌線）の主要幹線道路の交差点周辺 ● 3・4・105号音更中央通（主要道道音更新得線）の沿道 <p><沿道商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3・3・101号音更大通（国道241号） ● 3・4・114号柳町通（町道柳町北7線） ● 3・4・122号緑陽通（町道下音更然別北7線） 	<p><専用工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北開進地区 ● 木野地区 <p><一般工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北明台地区 <p><流通業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● IC工業団地 	<p><観光>空の玄関口</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 帯広市は、十勝地方の空の玄関口である帯広空港を有することから、広域交通の利便性の向上と円滑な交通ネットワークの形成に努める
芽室町	<p><地域商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● J R芽室駅周辺 <p><沿道商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3・2・302号基線通（国道38号） ● 3・2・309号2丁目通（主要道道豊頃糠内芽室線、一般道道芽室東四条帯広線） 	<p><専用工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 西工業団地 ● 東工業団地 ● 下美生地区 <p><一般工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鉄南地区 ● 弥生地区 	
幕別町	<p><地域商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● J R札内駅及びJ R幕別駅周辺 <p><沿道商業業務地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3・2・203号中央通（国道38号） ● 3・4・206号札内本通（一般道道札内停車場線） ● 3・4・211号幕別大通（主要道道幕別大樹線） 	<p><専用工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● リバーサイド幕別 ● 札内東工業団地 ● 明野工業団地 <p><一般工業地></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新田地区 	

3. 関連計画の方向性（2-2 土地利用「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」）

主体	計画名	都市づくりの課題	方向性		
			<道路交通>	<公共交通>	交通関連まちづくり
帯広市	● 第2次帯広市都市計画マスタープラン	<ol style="list-style-type: none"> 市街地の低密度化 公共交通の低い利用率 都市施設等の老朽化 自然災害リスクの高まり 	<p><広域交通ネットワークの整備促進></p> <ul style="list-style-type: none"> 道東圏と道央圏を結ぶ北海道横断自動車道や帯広・広尾自動車道の広域交通ネットワークの整備を促進 <p><主要幹線道路の整備促進></p> <ul style="list-style-type: none"> 4放射1環状で構成する主要幹線道路は、帯広圏1市3町を連絡する主要な道路としての役割を担っていることから、広域的な交通の円滑化を図るため整備を促進 市街地内の南北に計画されている弥生新道や大通は、都市内の主要な交通網の形成を図るため、整備を促進 	<p><持続可能なバスネットワークの形成></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者と行政が連携し、市民の利用実態やニーズを捉え、利便性や効率性、収益性を十分考慮した路線やダイヤの見直しのほか、路線バスと他の交通手段との接続性の向上などに取り組む 事業者等と協議し、インバウンド観光などに対応した案内等の多言語化や、ウェブサイトなどによる路線や運行情報の充実などに取り組む <p><バス、鉄道、空港、港湾との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な産業経済活動や文化・交流活動などを活性化するため、バス・鉄道・空港・港湾を結ぶ広域交通ネットワークの整備を促進 	<p><安全・安心> 自転車・歩行者空間の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車と歩行者が、それぞれ安全で快適に通行できる空間の整備を検討 <p><観光> 中心部の快適な道路環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 「十勝・帯広の顔」として中心部の広域的な産業・経済、観光、文化などの拠点性を高めるため、分かりやすい案内板の設置など、景観に配慮した道路空間づくりに努める <p><防災> 災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時における避難や緊急車両、物資輸送の経路となる道路の整備や適切な維持管理を進める
音更町	● 音更町都市計画マスタープラン	<ol style="list-style-type: none"> 集約型都市構造への転換 都市施設等の活用 安全・安心なまちづくり 自然・景観を重視したまちづくり 	<p><道路網の充実・強化></p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な道路網の早期整備 北海道横断自動車道利用における利便性向上、十勝川温泉地域の活性化などのため、「(仮称)長流枝スマートインターチェンジ」の整備を進める 	<p><公共交通(バス等)の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性向上や都市間の連絡強化に向け、将来を見据えた公共交通機関のあり方について、十分に検討 	<p><観光> サイクリングネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 十勝川・音更川を主軸とし、日常のレクリエーションや通学・買物への利用、ジョギングなどの健康増進のために、トカプチ400やチェリングロードなどを活用したサイクリングネットワークの形成やサイクルステーションの整備を図る
芽室町	<ul style="list-style-type: none"> ● 芽室町都市計画マスタープラン ● 芽室町立地適正化計画 	<ol style="list-style-type: none"> 未着手のままとなっている都市計画道路の見直し 安全な道路交通環境の整備 高齢社会を見据えた自動車依存型社会からの脱却 安全性を確保した通学路と、交通弱者への配慮 市街地に不足している駐車場整備 景観面と機能面を両立した街路樹等の整備 	<p><道路交通網の改善></p> <ul style="list-style-type: none"> 路網全体を総合的に検証し、位置付けの見直しや土地利用に合わせた改善を進める 	<p><生活を支える公共交通の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性を向上し、歩いて暮らせる交通環境を目指す 	<p><安全・安心> 誰もが歩きやすい交通施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 人にも環境にもやさしく誰もが安心して楽しく歩いて暮らせる交通施設を目指す
幕別町	● 幕別町都市計画マスタープラン	<ol style="list-style-type: none"> 少子高齢化に対応した都市の形成 既成市街地における活力低下への対応 公共施設やインフラ施設の有効活用と適正管理 自然環境との共生と安全・安心な都市の形成 	<p><道路の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 中央通(国道38号)と札内新道(道道幕別帯広芽室線)以東の道道幕別帯広芽室線未整備区間の整備を促進し、都市間の円滑な広域交通ネットワークの形成を図る 主要幹線道路への円滑なアクセスを図る道路として、止若通、幕別大通及び町道幕別札内線などを都市幹線道路として位置づけ、都市内道路網の形成を図る 	<p><公共交通機関の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅において町内公共交通と接続する交通結節機能の維持に努める 路線バスは、通勤・通学や通院、買物など、多くの町民の日常生活を支える重要な交通手段であることから、関係機関との調整を進めながら路線の確保に努める 地域公共交通については、利便性が向上するよう改善し、利用促進によって、二酸化炭素排出量の削減につなげる 	<p><安全・安心> 道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市内道路網の整備にあたって、高齢者や障がい者にやさしく、歩行者と自転車が安全に通行できる歩道の確保に努める 誰にでもやさしい道づくりとして、ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の整備について、計画的に推進

3. 関連計画の方向性（3 公共交通）

主体	計画名	公共交通の課題	方向性
			<公共交通>
北海道	● 十勝地域公共交通計画	<十勝地域の公共交通の課題> 1. 生活を支える広域的な公共交通サービスの維持確保 2. バスサービスの最適化 3. 高齢化への対応 4. 観光需要への対応 5. 路線間・交通モード間での連携強化 6. 公共交通の利用促進 7. バスやタクシーの運転手確保	<広域移動ニーズを支える広域交通ネットワークの持続性確保> ● 広域移動ニーズを支える公共交通の確保に向けた検討・実施 ● バス・タクシー運転手の確保 <シームレス化やデジタル化による広域交通の利便性向上> ● 乗継シームレス化によるサービスの利便性向上 ● デジタル技術活用による利便性向上 <地域全体で取り組む広域交通の利用促進> ● 公共交通の利用促進活動の実施
帯広市	● 帯広市地域公共交通計画	1. 都市構造・施設の変化に対応した公共交通網の形成 2. 交通結節点の利便性向上 3. 公共交通サービスの利便性、効率性の向上 4. 路線バスの収支改善 5. 運転手の確保 6. 公共交通への理解促進	<公共交通サービスの確保> ● 公共交通の運行効率化及び利便性向上 ● 運転手確保対策 ● 収支改善に向けた取り組み <乗継・待合環境の充実> ● 乗継利便の向上 ● 乗継拠点となる交通結節点の検討 ● バス路線沿線の施設等における待合スペースの設置 <公共交通の使いやすさの向上> ● 情報提供の充実 ● MaaS や自動運転など新たなモビリティサービスの検討 <公共交通の利用につながる環境づくり> ● 出前講座の実施 ● モビリティ・マネジメントの実施 ● ノーカーデーの推進 ● 農村地区デマンド交通の利用促進
音更町	● 音更町地域公共交通計画	1. 町民の移動ニーズに即したコミュニティバスの運行内容などの改善 2. 農村部における生活交通の維持と運行内容の改善 3. 公共交通の利用に関するわかりやすい情報の提供ときっかけづくり 4. 町民の広域的な移動を支援する地域間幹線系統の維持と町内交通とのスムーズな乗り継ぎ	<町民の移動ニーズに即した公共交通の利便性の向上> ● コミュニティバスの利便性向上 ● 高校生の通学に係る移動手段の利便性向上の検討 ● 「道の駅おとふけ」への移動手段の充実に向けた検討 ● より利便性の高い新たな移動手段に係る導入可能性の検討 <散居形態にある農村部居住者の町内移動を支援する生活交通の維持と利便性の向上 > ● 農村部と市街地を結ぶ移動手段の継続的な運行 <地域公共交通の利用促進に向けた町民の意識醸成> ● 町民に対するわかりやすい情報提供の推進 ● 公共交通の利用につながるきっかけづくり <町民の広域的な移動を支援する地域間幹線系統の維持> ● 町民の広域的な移動の確保に向けた地域間幹線系統の維持

3. 関連計画の方向性（4 自転車活用推進）

主体	計画名	自転車活用推進に向けた課題	方向性
			交通関連まちづくり
帯広市	● 帯広市自転車活用推進計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車通行空間の整備（自転車通行空間の連続性の確保） 2. 自転車の通行ルール・マナーの周知啓発 3. 健康づくりに向けたサイクリングを気楽に楽しむための情報発信 4. 環境負荷低減に向けた自転車利用の促進 5. サイクルツーリズムを楽しむための受入環境の整備 6. サイクルイベントの充実 	<p><安全・安心>安全な自転車通行空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車通行空間の計画的な整備による自転車利用者の安全確保と利便性向上 ● 自転車マップの作成による自転車利用者の利便性向上 <p><安全・安心>安全・安心な自転車利用の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 切れ目のない交通安全教室の実施による交通安全意識向上の促進 ● ヘルメット着用の促進による自転車利用者の安全確保 ● 自動車運転者の自転車利用ルールの理解促進 ● 自転車の点検整備による安全な自転車利用の促進 ● 安全性の高い自転車利用につながる周知啓発による自転車利用者の安全確保 ● 指導啓発活動の推進による自転車利用ルールの更なる周知啓発 ● チラシ等の配布による周知啓発 ● 通学路の安全点検による児童生徒の安全確保 <p><GX>多様なサイクリスタイルの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運動習慣者割合の増加や自動車依存の解消に向けた周知啓発 ● 健康コンテンツと連携した観光事業の促進 ● 自転車通勤の促進による環境保全意識の啓発と温室効果ガスの削減 <p><観光>地域の魅力を活かしたサイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サイクリング環境の整備 ● 企業等と連携したサイクリスト受入サービスの充実 ● レベルや目的に応じたサイクルイベントの開催支援 ● レベルや目的に応じたサイクルルートの開発
音更町	● 音更町自転車活用推進計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車の走行環境に関する課題（舗装の劣化、ルート案内看板やルート上の標識の老朽化など） 2. 自転車の安全利用に関する課題（自転車の交通ルールについて、大人になってから学ぶ機会が少なく、理解している方が少ない） 3. 健康づくり及び環境負荷低減に関する啓発に向けた課題（健康づくりのために町民が普段から気軽に利用できるルートの設定、環境負荷低減に向けた取組の推進） 4. 自転車の利用に関する情報発信（トカプチ400等の認知度が低い、休憩場所や自転車の修理等ができる整備場所の情報を得やすい環境整備） 	<p><安全・安心>快適な自転車通行空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備 ● 自転車マップの作成 <p><安全・安心>安全・安心な自転車利用の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車安全利用の促進 ● ヘルメット着用の広報啓発 ● より安全な自転車の点検整備を促進するための広報啓発 ● 安全性の高い製品購入につながる広報啓発 ● 自転車利用者のマナー向上 ● 自転車損害保険等への加入の促進に向けた広報啓発 ● 年代に応じた交通安全教室の実施 <p><GX>自転車を活用したライフスタイル構築の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車を活用した健康づくり ● 自転車活用による地球温暖化対策 <p><観光>地域の魅力を活かしたサイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サイクリング拠点化に向けた各道の駅の機能強化 ● サイクリスト受入施設の拡大 ● 訪日外国人を考慮した受入サービスの検討 ● 先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートの設定 ● 誰もが迷わず安全に楽しむことができる走行環境整備 ● サイクリングを核とした観光コンテンツの磨き上げによる魅力づくり ● ICTを活用した情報発信

3. 関連計画の方向性（4 自転車活用推進）

主体	計画名	自転車活用推進に向けた課題	方向性
			交通関連まちづくり
幕別町	● 幕別町自転車活用推進計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車の走行環境に関する課題（町道においては、矢羽根や案内看板・標識が未整備） 2. 自転車の交通ルール・マナーなど安全利用に関する課題（自転車の交通ルールは、成人してからの自転車利用や自転車に関するルールを学ぶ機会が少ない） 3. 健康づくり及び環境負荷低減に関する啓発に向けた課題（幕別町を含めた十勝管内は自動車への依存度が高い地域であり、自転車を健康づくりのツールとして気軽に楽しめる情報発信や自転車利用による環境負荷低減に向けた取組の推進） 4. サイクリストの受入環境に関する課題（「トカプチ400」のナショナルサイクルルートの指定により、観光客の増加が見込まれることから、より快適にサイクリングを楽しむための受入環境を整備） 5. サイクルツーリズムを楽しむための受入環境の整備（トカプチ400や地域ルートについて、情報発信しているが、町内外の方を含め多くの方が知らない） 	<p><安全・安心> 安全な自転車通行空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備 ● 自転車マップの作成 <p><安全・安心> 安全・安心な自転車利用の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車安全利用の促進 ● ヘルメット着用の広報啓発 ● 自転車の点検整備を促進するための広報啓発 ● 自転車利用者のマナー向上 ● 自転車損害保険等への加入の促進に向けた広報啓発 ● 交通安全教室等の実施 <p><GX> 多様なサイクルスタイル構築の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の活用も含めた健康づくり ● 自転車活用による地球温暖化対策 <p><観光> 地域の魅力を活かしたサイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サイクリストの受入環境の整備の拡大 ● 先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートの設定 ● 誰もが迷わず安全に楽しむことができる通行環境の整備 ● サイクリングを核とした観光コンテンツの磨き上げによる魅力づくり ● 地域住民が気軽に参加できるサイクリングイベントの開催支援 ● 幕別町応援大使を活用した自転車利用の普及促進

3. 関連計画の方向性（5 環境）

主体	計画名	方向性
		交通関連まちづくり
帯広市	● 第三期帯広市環境基本計画	<p><GX>環境配慮行動の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素社会づくりに貢献する「製品の買い換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」などの地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促すため推進している国民運動「COOL CH OICE」を普及し、家庭部門及び運輸部門からの温室効果ガスの排出割合が大きい帯広市においては、市民や事業者の積極的な環境配慮行動が重要なことから、広報や省エネ啓発チラシ等により、情報発信を行う
音更町	● 音更町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第4次事務事業編）	<p><公共交通・GX>公共交通機関の利便性向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の自発的な公共交通機関利用に向け交通サービスのあり方を検討 ● 公共交通の利用促進につながる情報提供や出前講座、乗車体験イベントの実施 ● 免許証を自主返納する高齢者等に対する支援 <p><公共交通・DX>公共交通機関の利便性向上と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICT技術を活用し利用者ニーズに合わせたダイヤ・経路での運行 ● ICT技術を活用した、観光客等が好みに合わせた最適ルートや交通手段で移動できる仕組みの形成
芽室町	● 第3期芽室町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）	<p><GX>公用車燃料使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エコドライブの実施 ● 車を離れるときのエンジン停止 ● 無駄なアイドリング防止 ● 用務先の距離に応じて徒歩での移動 ● 低公害車、低燃費車、電気（EV）自動車の導入
幕別町	● 幕別町地球温暖化対策実行計画（案）	<p><公共交通・GX>交通の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ● EVコミュニティバスの導入 ● EV乗り合いタクシーサービスの提供 <p><GX>省エネライフスタイルの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ● EV等次世代自動車の導入 ● 電動自転車シェアリングサービスの提供

3. 関連計画の方向性（6 デジタル化）

主体	計画名	方向性
		交通関連まちづくり
帯広圏	● 帯広圏デジタル化推進構想（原案）	<p><DX>令和10年度までを目途に 帯広圏での実現を目指す取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動運転の実証実験 ● 道路の維持管理の効率化 ● 道路占用申請のオンライン化 <p><DX>中長期スパンで 帯広圏での実現を目指す取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術の活用による除排雪の効率化

※帯広市は平成20年7月22日に環境モデル都市に指定
帯広市、音更町、幕別町はゼロカーボンシティの表明・宣言をしています。

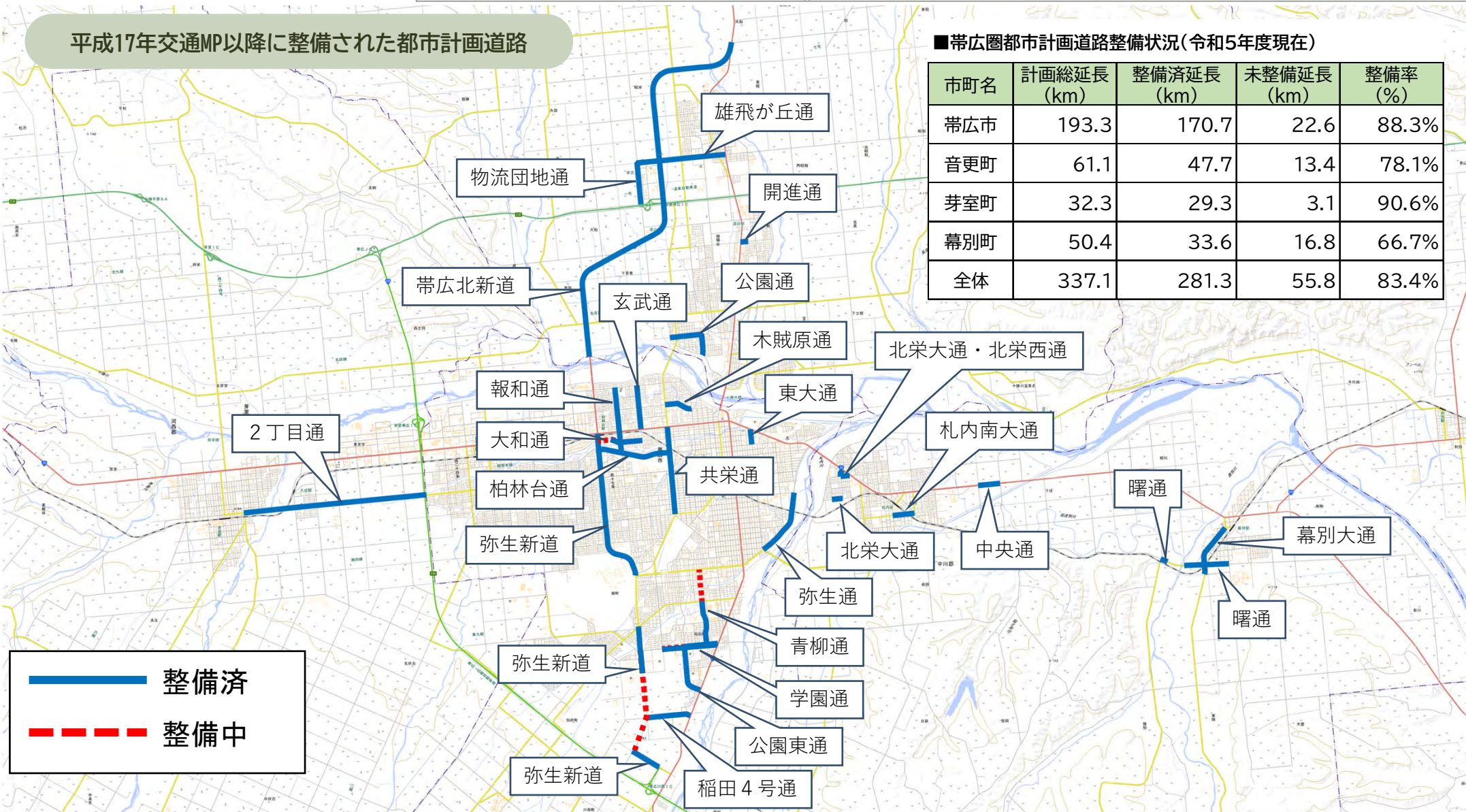
9. 都市計画道路の整備状況

- 令和2年3月に共栄通の一部区間開通や、平成21年11月に弥生新道の国道38号から自衛隊までの街路整備が行われ、現在は青柳通や大和通、帯広川西ICへのアクセスとして学園通から川西7線までの弥生新道の整備が進んでいます。
- 帯広圏内の都市計画道路の整備率については、帯広圏全体で8割が整備済となっています。長期未着手路線等については、今後の整備方針の検討も必要と考えられます。

平成17年交通MP以降に整備された都市計画道路

■帯広圏都市計画道路整備状況(令和5年度現在)

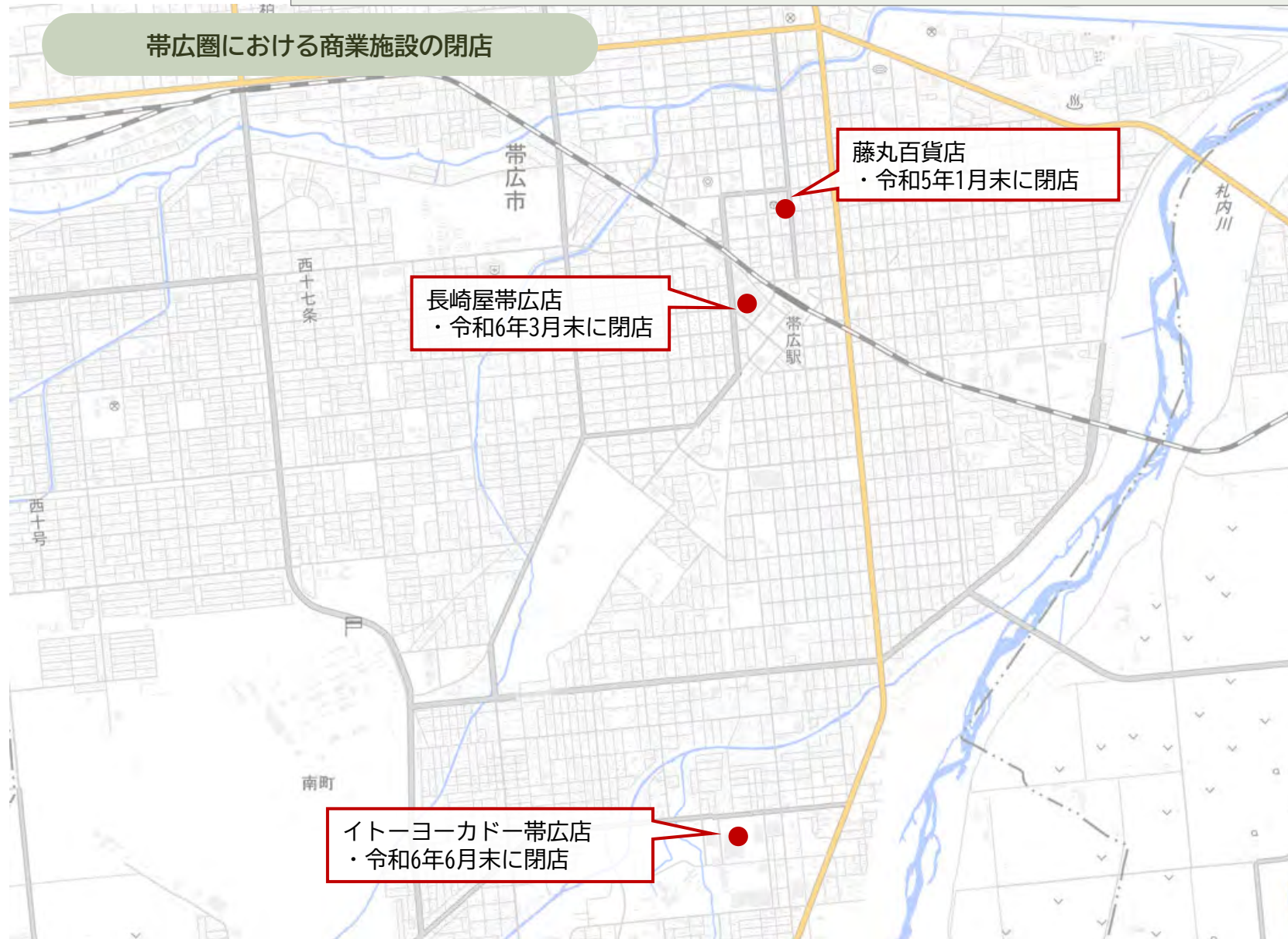
市町名	計画総延長(km)	整備済延長(km)	未整備延長(km)	整備率(%)
帯広市	193.3	170.7	22.6	88.3%
音更町	61.1	47.7	13.4	78.1%
芽室町	32.3	29.3	3.1	90.6%
幕別町	50.4	33.6	16.8	66.7%
全体	337.1	281.3	55.8	83.4%



— 整備済
- - - 整備中

10. 商業施設の閉店

- 令和5年1月末に帯広都心部にあった藤丸百貨店が閉店し、令和6年3月末に帯広駅南口にある長崎屋帯広店が施設から撤退（令和6年3月に施設が閉鎖）するなどしています。
- また、稲田地区にあるイトーヨーカドー帯広店も令和6年6月末に閉店予定であり、帯広市内における商業施設の閉店が相次いでいる状態です。



1.1. 物流拠点構想

- 帯広商工会議所運輸交通部会が日本の食料基地として、「食料の安定供給」と「季節平準化」のための物流拠点形成に向け、道内の中間地と位置づける十勝に物流センター設置の提案がされており、帯広川西IC付近や芽室町等が候補として報道されています。
- 高規格道路などで自動運転を導入し、後続車無人隊列走行システムを実装することや、高規格道路ネットワークの整備促進、十勝港やとかち帯広空港、JR貨物の活用など、あらゆる輸送モードとの連携を図る構想となっています。

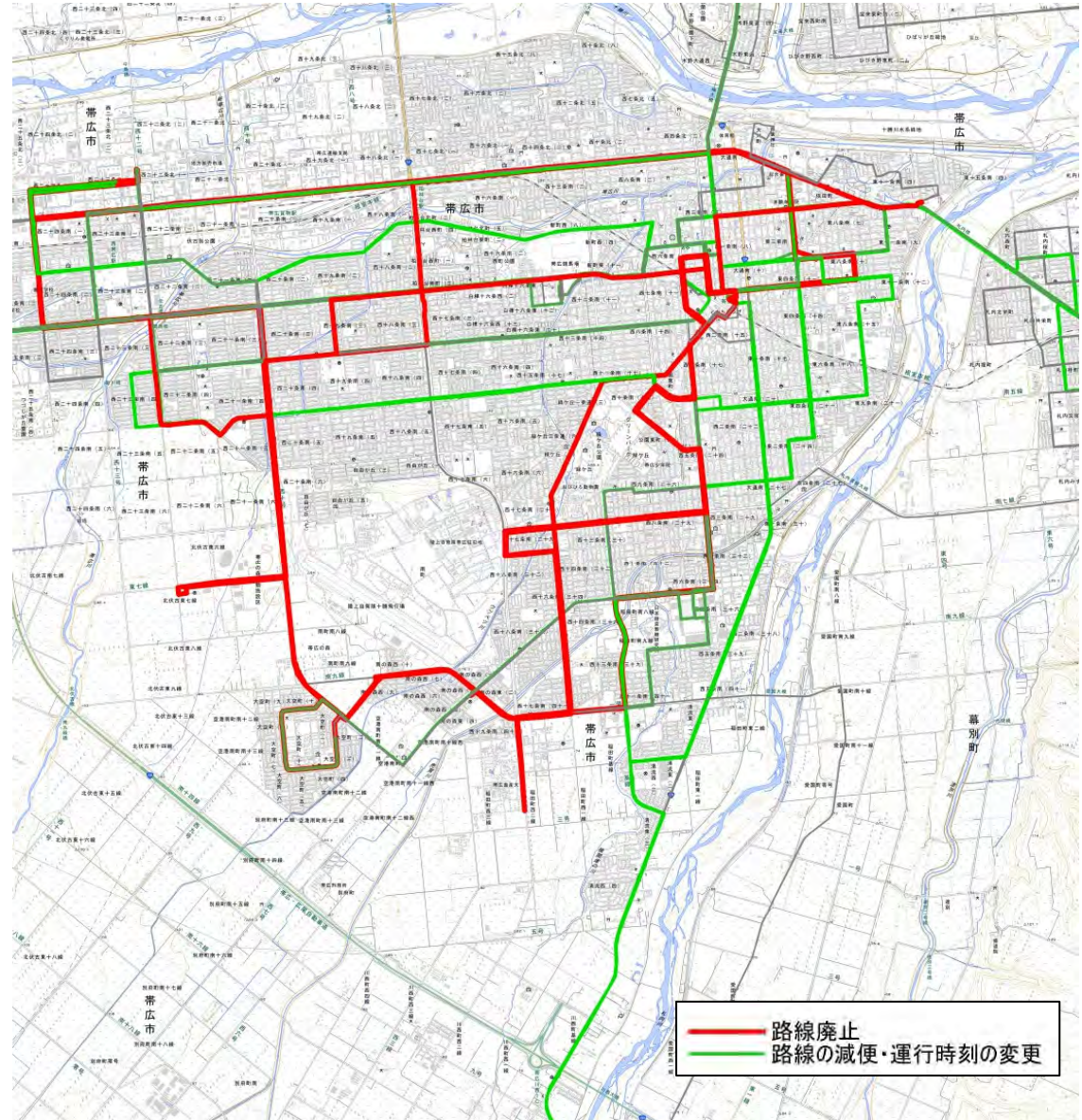
拠点形成に必要な機能案	具体的な内容
物流センター設置	道内の中継地を十勝とし、物流センター設置で安定的な食料供給を実現するとともに、時間外規制により輸送圏外となる道東・オホーツク圏の物流を支える。
中継輸送	中継輸送プラットフォームを活用したパートナー企業のマッチング、積み替え作業軽減のためのフォークリフト整備などを行う。
共同輸送	トラックや帰り荷の共同化、トラック予約受け付けや貨物追跡システムなどのデジタル化を推進。
パレット輸送	レンタルパレットやコンテナの普及によるパレットおよび外装の標準化を進め、荷役作業・積載の効率化を図る。
貯蔵設備の整備	雪氷などの自然エネルギーを活用した貯蔵施設を整備し、貯蔵による出荷調整で新たなビジネスチャンスなどを生み出す。
休憩施設設置	中継地となる十勝に休憩設備を整備することで、ドライバーの労働環境を改善させるとともに、災害時には避難施設として活用できるようにする。

12. バス路線の廃止・減便

- 令和5年8月21日のダイヤ改正により、十勝バス株が運行するバス路線とスクールバス計5路線16便が廃止となり、また、12路線37便が減便となっており、運転手不足や新型コロナウイルス感染症を契機とした利用者減少が大きな影響となっています。

バス路線の減便・廃止状況

路線名	変更内容
【1】【2】循環線	・路線の減便
【70】大空団地線(国道38号経由)	・路線の減便 ・一部運行時刻の変更
【40】音更線 【40-1】新緑通線	・路線の減便 ・一部運行時刻の変更
【3】南商線 【3-1】柏葉高・総合振興局線 【21】南商あかしや線	・路線の減便 ・運行時刻の変更
【60】広尾線	・路線の減便 ・運行時間の変更
【10】幕別線	・路線の減便
【36】新町線	・路線の減便 ・運行時間の変更
【31】芽室線	・路線の減便
【6】東8条線	・路線の減便
廃止路線	
【28】【29】環状線きた・みなみ回り	
【79】畜大線	
【S2】農高・緑陽高校スクール線	
【S5】東13条(国道)～大谷・南商・三条スクール線	
【S7】東13条(競馬場)～大谷・南商線	



データ整備による現況解析の結果報告